



2014 年度事業計画

特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお

★ 1. 事業計画の基本方針

☆ NPOの自立性を高めます

寄附啓発を継続して行い、地域のNPOへの寄附の機運を高めます。また、「みのお市民活動支援金制度」の活用を通して、NPOの自立的事業実施の支援を行います。

☆ セクター間の連携を推進します

これまでの実績を踏まえつつ、近隣の大学や企業・店舗と連携した事業を実施し、協働した事業実施等を通して、多様なセクター間をつなぐゆるやかなネットワークを広げていきます。

☆ NPOの担い手を増やします

今後の市民活動の発展のため、これからの社会を担う若い世代の関心をNPOに引き寄せたり、セカンドステージを迎える定年退職者へ市民活動の紹介をしたりすることを通じて、NPOのファンや担い手になってくれる人材を増やしていきます。

(1) 市民活動サポート事業（受託事業）

1) 非営利公益市民活動に係る情報収集及び提供に関すること

① 情報の収集及び発信

・ ホームページ管理運営

ホームページを管理・更新し、センターとして開催する講座や支援金の募集・交付に関する情報を発信する。また、ニュースレターや情報誌、ハンドブックなど他の情報発信事業の発行物をWEB上でも提供する。

日々の情報については、指定管理者が運営するブログ等と連動し、活用する。

・ 専門的情報収集

他の中間支援組織との情報交換、各種講座、交流会への参加、先進地域への視察などによる、中間支援に関わる専門的情報の収集をする。

・ 人材バンク(サポーター登録)

シニアナビ等と連携して市民活動・ボランティアに参加したい市民の登録を受付けて管理し、市民活動団体や活動につなげる機会を提供する。

② ニュースレター発行業務 配布部数:1000部(年3回)

各公共施設、官庁、市民活動団体等に配布する。

規格:A4版4頁カラー 配布部数:1,000部

③ NPOサポーター情報誌の発行(年2回)

団体のサポーターなど、ボランティア活動を紹介する情報誌を年2回発行する。

発行後のNPOへの効果を、アンケートやヒヤリング等で追跡する。

規格：A5版約40ページ 配布部数：1,000部

2) 非営利公益市民活動に係る講座の開催、その他啓発に関わること

① NPOフェスタの開催(年1回)

期間1週間で開催するものとし、オープニングとエンディングにイベントを行い、活動紹介などのパネル展示、NPOフェスタ期間中に開催する市民活動の企画を募集し、会場を提供する。

また、さまざまな市民活動のフィールドに興味を持つ仕掛けとして、立地条件を活かし、周辺店舗と連携した市民活動の啓発を行う。

② NPOスキルアップ講座の開催(年6回)

NPOを対象とした、組織マネジメント、広報や企画のスキル等の向上をめざす講座、および学生等、現在のNPO関係者以外も対象に、市民社会の成熟・発展に関する啓発を目的とした講座を開催する。

3) 非営利公益市民活動に係る相談に関すること

① 各種専門家相談事業(年2回)

団体の会計処理に関すること、法人の税務、労務など、専門的な相談業務を行う。

個別相談の形式だけでなく、必要に応じて講座形式も組み合わせて実施する。

② 一般相談

センタースタッフによる、市民活動などに関する日常的な相談への対応。

相談内容をデータとして集積し、スタッフ間での共有やフォローアップに利用する。

また、相談記録の傾向は、中間支援事業の企画に活かす。

4) 非営利公益市民活動に係る交流の促進に関すること

① 利用者協議会の開催(年1回程度)

外部評価の一環としての利用者の意見聴取の実施も兼ねて実施する。

利用料減免団体等に声をかけ、センターの利用や運営に関する意見交換、および、利用者同士の情報交換、交流も図る。

② 子育て支援ネットワーク交流会(年2回程度)

子育て関連団体のネットワークを図り、情報交換の場や団体のマッチングの場を提供して子育て環境の基盤整備や活動の充実を図る。

③ 地域資源活用による地域コミュニティの活性化

大学等の地域資源を活かして多様な人々の交流を促進することで、地域コミュニティの活性化を図る。

5) 非営利公益市民活動に係る調査・研究事業

① 箕面市の市民活動実態調査

市内の社会福祉協議会や国際交流協会などの中間支援組織の協力を得て、箕面市の市民活動支援のための方策を検討する上での前提となる市民活動団体の基礎的なデータや他団体（行政を含む）との協働の意向をアンケート等により収集し、分析を行う。

6) 非営利公益市民活動に係る支援に関すること

① みのお市民活動支援金事業

募集、申請受付、審査実施、交付決定、結果報告の確認など一連の事務を行う。

申請や実施についての相談は一般相談事業や他の事業と連動し、団体のスキルアップや組織強化などにつなげるフォローアップを行う。

② みのお市民活動支援金報告会の開催(年1回)

市民活動支援金交付団体の報告会を、今年度事業がほぼ終わる3月末に開催する。

交付団体は基本的に報告会に参加してもらい、より多くの市民に支援金事業を知ってもらう機会を提供する。

7) 非営利公益市民活動に係る場所及び施設の提供に関すること及びセンターの施設の利用に関すること

① センター管理業務

貸館管理業務（夜間含）

センターの施設及び付属設備備品提供に関する業務。一般相談業務。

市民活動団体の場の提供と情報提供。

センター開設利用時間 9：00～22：00

休館日 臨時休館日、年末年始（12月29日～翌年1月3日）

(2) 自主事業の展開

市民活動のエンパワーメントのための人材育成・研修事業を進め、市民活動団体のネットワークを活かした連携と交流を図りながら、箕面市の市民活動の活性化により、魅力あるまちづくりをめざす。また、団体の課題である資金循環や組織強化するために、ここ数年地域の店舗との連携が深まっている「チャリティタウンプロジェクト」事業を引き続き開催する。

そして、3. 11東日本大震災の復興支援に関しては、様々な支援活動が活発に行われるよう日頃のネットワークを活かして出来る限りの支援活動やサポートをしていく。

さらに、昨年度の会員拡充会議で協議を重ねた中から誕生した学生会員の制度がスタートするが、そ

こから新たな人材を発掘し、NPOにつなげていくことを図る取り組みを行う。

1) 市民活動に関する情報の収集・提供

自主事業を中心としたニュースレターの発行と、会員やサポーター向けのメールニュースの配信を行なう。また、ホームページを更新し、市民活動に関わる情報を発信する。

① ニュースレター(名称「市民活動フォーラムみのおニュースレター」)の作成と発行(年3回程度)

市民活動フォーラムみのおの自主事業を中心に、特集や研修報告など、市民活動フォーラムみのおの独自性をアピールするニュースレターを発行する。活動に共感する店舗等の協賛を募りながら、設置協力店舗も広げて行く。(現在約14店舗)

② メールニュース(名称「かわら版」)及びサポーターニュースの配信(月2回)

会員や行政に向けて配信(約80件)。フォーラムみのおが関係する事業や団体会員の事業を紹介する。また、市民活動フォーラムみのおの人材バンクに登録されているサポーターに対して、「かわら版」にボランティアの募集を付加した「サポーターニュース」を配信する。

③ フォーラムみのおのホームページの管理運営

市民活動フォーラムみのおのホームページを管理・運営し、自主事業をはじめ、市民活動に関する情報提供を行う。

2) 市民活動を行う個人および団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援

◆活動支援事業

箕面市を中心に活動展開する市民団体の活動支援を、資金循環システムの具体策として、市民活動応援ファンドなどの事業を通して進めていく。

① 市民活動応援ファンド

今年度は引き続き準備期間とし、来年度に向けての寄付金募集を中心に準備を進める。

② チャリティタウンプロジェクト

団体の継続した活動のための資金調達を目的として、チャリティタウンプロジェクト(寄附付き商品キャンペーン)を実施する。

地域の店舗と提携し、寄附付き商品を販売してもらい(約2ヶ月間程度の期間限定)、参加NPOに寄附されることを通して寄附文化の普及をめざす。

③ まんどう火祭り等の活動や情報交流の支援

子育て支援や環境保全等の活動・情報の交流会や、かやの中央まち育て交流会と連携する「まんどう火祭り」の開催など、さまざまなネットワークの場を提供し、情報交換や活動の交流を図る。

④ 活動支援講座の開催

団体の組織力向上を図る勉強会やセミナーなど、市民団体の活動を支援する講座を企画・開催する。

◆運営支援委託事業

市民活動促進の支援の一環として箕面市の受託事業を行う。

⑤ 山とみどりの市民イベント

多くの市民がみどりを守る活動に参加するようになることを目的に、市の委託を受けNPO法人みのお山麓保全委員会と共に事務局を担い、実行委員会形式で開催する。

3) 市民活動に関する人材育成を行うこと

◆人材育成

これからのまちづくりを担う若手の人材発掘、企業退職者などの活動支援、市民団体の日常事務をサポートするために講座等を開催する。

また、あらたに設けた学生会員を増やし、NPOのスキルを身につけるセミナー等を開催して、大学生のNPOの関心と専門性を箕面のNPOにつなげていく。

① 出合いの広場事業

これから何かしたいと思う市民に向け、気軽におしゃべりをしながら個々の事情に沿ったピアサポート的なサロンを随時開催しながら、市民活動に興味を持つ機会を提供する。

② サポーターへの対応

サポーター制度に登録していただき、NPOの活動補助やイベントのサポート等の参加呼びかけを継続的に発信。サポーターの記録を構築し、活動に対しての感謝状を出すなど、サポーターとしてのモチベーションを保つよう、情報提供をする。また、専門的スキルを持ったプロボノサポーターの発掘を進め、団体や事業等に積極的につなげていく。

③ 地域との連携(ボランティア受け入れ等)

学校のボランティア演習や職業体験、市職員向け人権セミナーでのNPOの啓発など、センターや関連団体が受け入れのフィールドになったり、活動の紹介をしたりすることで、地域との連携を深める。

④ 高校啓発事業

箕面東高校のワールド「社会福祉入門」授業で、高校生にさまざまな分野のNPOを紹介、啓発する授業を行う。

⑤ 学生会員対象の講座とフィールドワーク等の研修

次世代の担い手の育成を目的にして、主に広報の学習を中心にNPOの活動と社会課題の発信と共有をする。そのために、毎月の講座とフィールドワークを実施する。

4) 市民活動を促進するための社会的な環境の整備をすること

① 団体との連携

(ア) ボランティアフェスタ「いきいきまつり」(ボランティアセンター運営委員会兼務)

箕面市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携して実行委員会に参画する。

(イ) かやの“お宝”人権まつり

らいとぴあ21と連携して実行委員会に参画する。

(ウ) みのお市民人権フォーラム

みのお市民人権フォーラム実行委員会に参画する。

② ネットワーク構築

(ア) 箕面市内の非営利中間支援組織のネットワーク「もっとネット会議」の開催

市内5団体との連携で、年4回程度の事務局レベルの情報を中心とした交流を行なう。

また、センター事業の調査研究事業等と連携・相互協力して協働の事業を行なう。

※市民活動フォーラムみのおが主幹

《5 団体》 (社福) 箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター

NPO法人みのお山麓保全委員会

(公財) 箕面市国際交流協会

(公財) 箕面市メイプル文化財団

タッキー816 みのおエフエム

(イ) 市民芸術祭実行委員会の参加

市民が主体的に運営する芸術祭の組織委員会に参画し、運営のサポートをする。

(ウ) 企業・大学との連携

昨年度から連携している阪大ボランティアセンター構想を進める阪大学生グループや企業とのコラボレーションを探る中で、大学や企業との連携を深め、相互協力や協働事業などを図っていく。

5) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するため、必要な事項

① 来館啓発及び表現活動の場の提供

(ア) ほっとコンサートの開催(年4回程度)

センターの周知とにぎわいづくり、市民グループの発表と交流の場の提供、サポーターの活躍の場を目的に、年4回開催する。

(イ) 箕面在住アーティスト展

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、随時開催する。

(ウ) アートの広場(随時)

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、廊下の壁面のスペースを利用した作品の展示を、随時開催する。

② 中間支援組織の研修

(ア) KNNへの参加

関西NPO支援センターネットワーク（KNN）に参加し、他市支援センタースタッフ等と交流し、連携、情報交換を行なう。

(イ) スタッフ研修

NPO支援センタースタッフのスキルアップを向上させるため、研修や勉強会に参加する。

(ウ) 北摂NPO支援センタースタッフ交流会

北摂地区中間支援組織のスタッフを対象に情報交換や勉強会など、それぞれの拠点を連番制で訪問しながら交流会を開催する。

(エ) 大阪府社会起業家中間支援プラットフォーム

大阪府社会起業家ファンド助成金の推薦機関となり、他の社会起業家中間支援組織でネットワークを組み、交付団体のコンサルタント等の支援や社会起業家の啓発活動を行う。

③ 東日本大震災復興支援事業

東日本大震災直後から、センター館内とその周辺で、市の義援金募金と共に災害支援NPOへの募金活動や聖母被昇天学院の皆さんによる聖歌隊のチャリティコンサート、被災地の支援活動団体によるパネル展示、復興に向けた現状報告会等を行う。また、当事業でつながった音楽グループが行っている「手をつなごう！コンサート」と連携して開催するなど、復興支援活動を協力する。

④ その他必要事業(指定管理者戦略会議等)

今年度は、みのお市民活動センターの第3期指定管理者公募のある年であり、その対策として、公募申請の戦略会議を開催する。その他、必要に応じて事業を行う。

以上